

Live & On Demand Webinar Series 2021

オックスフォード・イムノテック
ライブウェビナーシリーズ2021

みなさまの業務にお役立て頂ける情報を
ライブで配信!



2021年 第5回配信

2021.9.22 Wed 19:00~20:00 **ZOOMにて配信**

「新型コロナウイルス感染症流行下の結核事情」
～慢性腎臓病患者におけるLTBI診療の重要性～

19:00
19:30

講演者：千葉大学医学部附属病院
感染制御部・感染症内科

猪狩 英俊 先生

「当院における慢性腎臓病患者のLTBIスクリーニングの実際」
～腎臓内科医の立場から～

19:30
20:00

講演者：東京都立墨東病院腎臓内科

井下 聖司 先生

お申し込みは裏面をご覧ください。

猪狩 英俊 先生

千葉大学医学部附属病院
感染制御部・感染症内科

新型コロナウイルス感染症の流行が長期化し、結核医療体制にも大きな影響がでています。結核病床は、COVID-19病床に転用されたものもあります。保健所機能も、COVID-19関連にシフトし、結核接触者健診などへの影響がでています。

慢性腎臓病患者、特に透析治療をうけたり、腎移植をうけた患者は、活動性結核を発症するリスクが高いことが指摘されています。潜在性結核感染症の診断には、T-SPOTなどのインターフェロンγ遊離試験が有用です。また、潜在性結核感染症の治療にも変化がでてきます。日本結核・非結核性抗酸菌症学会の指針を元に、慢性腎臓病患者への対応について議論を深めたいと思います。

井下 聖司 先生

東京都立墨東病院腎臓内科

慢性腎臓病患者さんは、主にT細胞活性化の低下により免疫機能が低下すると考えられています。そのため、透析を行っている末期腎不全患者さんでは、結核の発病リスクが10～25倍に増加すると考えられています。潜在性結核感染症治療指針でも透析患者さんは、積極的にLTBI治療の検討を行うことが勧められています。

しかし、どのような透析患者さんに、いつLTBIのスクリーニングを行うべきかについては、一定の見解がありません。私たちは透析導入期にLTBIのスクリーニングを行い、透析導入期のLTBI罹患率や、特徴について検討しました。当院でのLTBIスクリーニングについて紹介させていただきます。

ウェビナー登録はこちらから

https://zoom.us/webinar/register/WN_j5yu9DSiTsQVJPemRQwVmg



医療従事者の方に、情報発信を行っています。

日本国内の医療従事者を対象として、結核補助診断キット「T-スポット®.TB」の適正使用をご理解いただくために、オックスフォード・イムノテックが情報提供を行っています。結核に関する様々な情報、WEB講演会、症例検討、エキスパートへの質問コーナーなど、診断から治療まで医療従事者の皆様にお役立ていただける内容をご用意しております。



●医療従事者向け情報サイト

- ・T-スポット®ニュース
 - ・基礎知識
 - ・各種ガイドラインの位置づけ
 - ・専門医向けinformation
 - ・ウェビナー
 - ・専門医への質問箱
- など他にも様々な情報を提供しております。

●ニュースレターメールでの最新情報の発信

- ・定期的に最新情報や先行情報を配信
- ・Eメールニュースレター購読者限定イベントをご案内

など最新情報を発信しております。

会員登録はこちらから
<https://tspot.jp/>



●下記のSocial Mediaでも情報発信を行っています。

オックスフォード・イムノテック株式会社
T細胞免疫応答に関連したアップデート情報を定期的に配信しています。

Oxford Immunotec APAC
オックスフォード・イムノテック APACからグローバルな情報を発信しています。

【お問い合わせ先】

オックスフォード・イムノテック株式会社

横浜市港北区新横浜 3-8-8 日総第16ビル 8F
TEL. 0120-718-004 FAX. 045-473-8006
e-mail : contact-jp@oxfordimmunotec.com

